



主題名 「世界人権宣言」は人権のリスト

教材名 世界人権宣言

人権学習の視点 普遍的な視点「人権の意義」

主題・教材について 「世界人権宣言」は人権のリストである。人権とは抽象的なものではなく、一人一人に保障された個々の権利であることは、失いたくないものを意識させ、それらと比較する中でより明確になるものと思われる。絵カードを用いることで、各条文に親しみながら「世界人権宣言」を理解させたい。

ねらい 自らの考えと「世界人権宣言」とを照らし合わせる中で宣言の内容を理解し、人権についての概念を明確にし、その大切さに気付く。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○人として生きていく上で失いたくないものはどんなものがあるかを考えさせる。	一斉	○日常生活を思い浮かべながら、失いたくないものにはどんなものがあるかを考える。	○水・食べ物・住む家など生命維持に必要な食べ物をはじめ、人として生きていく上で必要な物を考えさせる。 ○物（携帯、ゲーム）などのような「欲しい物」とは区別して考えさせる。 ※世界に視野を広げ、あつては困るものを考えて、そこから失いたくないものも考えてもよい。（戦争・飢え・差別・人身売買・ホームレス・ストリートチルドレンなど）	
	みんなが失いたくないものはなんだろう。				
展	○生きていく上で、これだけは失いたくないと思うものを書かせ、様々なことが日常生活の中で保障されていることに気付かせる。	個別	○自分が失いたくないと思うものを紙に書く。	○思いついたものは全て紙に書かせる。	小さな紙など
	○各自が書いた意見をグループで交流させ、失いたくないもののリストを作らせる。	グループ	○グループで各自の考えを交流し、失いたくないもののリストを作る。	○グループ内で出た意見は全てリストに書き上げるようにさせる。 ○リストは全員に見えるように黒板等に掲示する。	模造紙 ペン
開	「世界人権宣言」の各条文を見てみよう。				
	○活動内容（「世界人権宣言」の各条文を表す絵カードを選ぶ）を説明する。	グループ	○「世界人権宣言」の条文を順に読み、絵カードを選ぶ。	○CDにある全文のプリント（文字のみ）を配布する。（解答となる絵付きの全文はこのグループ学習後配布する。） ※作業させるのは何枚かのカードに限っても良い。 →必ず選択すべき条項 1, 2, 3, 25, 26, 29, 30条	世界人権宣言（全文）をプリントしたもの（CD） 絵付き全文（CD）
まとめ	「世界人権宣言」にはどんなことが書かれていたかまとめてみよう。				
	○失いたくないもののリストと「世界人権宣言」とを比較させる。	一斉	○失いたくないもののリストと「世界人権宣言」とを比較する。	○リストに書き上げた内容は、世界人権宣言にほぼ含まれていることに気付かせる。	
まとめ	○「世界人権宣言」の生まれた背景と、そこに込められた願いや価値について理解させる。	一斉	○「世界人権宣言」の生まれた背景と、そこに込められた願いや価値について理解する。	○英語名「Universal Declaration of Human Rights」から、その普遍性と数えられる点（Rightsが複数形）とおさえる。	ワークシート

評価 自らの考えと「世界人権宣言」とを照らし合わせる中で宣言の内容を理解し、人権についての概念を明確にし、その大切さに気付くことができたか。